

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
								評価結果		
那須塩原市地域公共交通会議	ジェイアールバス関東(株)	系統名:西那須野線(黒磯線乗入黒磯駅直通) (西那須野駅～那須塩原駅～黒磯駅)	・鉄道との接続等のダイヤ見直し ・効果的なPRの実施 ・近隣市町との運行ダイヤの調整	A	適切に実施した	C	・目標202人/日に対して、191人/日 ・目標を達成できなかった理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の高校が休校したため、メインの利用者となる高校生の利用が減少した	鉄道だけでなく、近隣市町のバスとも運行ダイヤを調整することで、乗り継ぎ時間の短縮を図る。 また、近隣市町のバスと共通で利用できる共通乗車券の発行に向けて検討を進め、通学利用だけでなく、通院・買い物などの生活交通としての機能を強化し、近隣市町と協力して相互に利用者数を増加させて、収支率の改善に努める。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・「共通乗車券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	
	ジェイアールバス関東(株)	系統名・:西那須野線 西那須野駅～那須塩原駅	・鉄道との接続等のダイヤ見直し ・効果的なPRの実施 ・近隣市町との運行ダイヤの調整	A	適切に実施した					
						第三者委員会における各委員からの意見				
						令和2年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取り組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○コロナによって日常の行動変容が起きているが、ポストコロナにおいても、人々の移動を戻していかなければ、街の活性化はない。移動する仕掛けが必要であり、地域戦略が必要。 ○地域公共交通会議の枠組みを最大限活用していただきたい。MaaSの発想、考え方でいろいろな交通手段や活動を繋げていくこと、あるいは、様々なデータをオープンにして共有し、課題を可視化することも公共交通会議で可能。 ○デジタル化はニーズを捉える重要なツールであり、マーケティングのツールとしても非常に重要。				